



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 檜 垣 周 作
 (コード番号 2538 東証第二部)
 問 合 せ 先 執行役員 財務計画部長 杉 義 継
 (電話番号 06-7688-5900)

平成 30 年 9 月期第 2 四半期連結業績予想数値と 実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 11 月 10 日に公表いたしました平成 30 年 9 月期第 2 四半期累計期間(平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の連結業績予想数値と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 9 月期第 2 四半期(累計) 連結業績予想数値と実績値との差異

(平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	17,200	300	90	10	0 円 56 銭
実績値(B)	16,242	153	2	89	4 円 80 銭
増減額 (B - A)	957	146	87	99	
増減率 (%)	5.6	49.0	97.7		
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 9 月期第 2 四半期)	12,168	310	130	47	3 円 83 銭

(注) 平成 30 年 4 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合を行われたと仮定して「1 株当たり四半期純利益」を算出しております。

2. 差異の理由

売上高は、輸入食品類・酒類販売事業で、欧州(ブルガリア、フランス)で発生しました鳥インフルエンザによりフォアグラ・家禽類の販売に大きく影響し、製菓用食材(主にチーズ)や小売用商品(主にバレンタイン商材)も伸び悩みました。また食品類・酒類事業で、国内市場の厳しい外部環境の中で新規開拓が順調に進んだものの、既存取引先への販売が苦戦したこと等により、前回発表予想数値を下回りました。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、人件費や諸経費の削減に取り組んだものの、売上高未達の影響が大きく前回発表予想数値を下回りました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、平成 30 年 3 月 16 日公表の「株式会社アスラポート・ダイニングによるジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社の株式交換による完全子会社化に関する株式交換契約締結のお知らせ」に記載のとおり、当社は株式会社アスラポート・ダイニングの完全子会社となり、当社株式は上場廃止となることを見込まれますので、平成 30 年 9 月期の連結業績予想は記載しておりません。

以 上